

# 令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

## 1 事業の成果

なでしこ共同作業所の利用者の多くが65歳以上となりました。20年以上通いつける利用者もあり、その間には高齢となったご家族を見送り、一人暮らしになった方もおられます。

作業所は、障害者総合支援法が整備されるより前から、日中の居場所や社会交流の場として家族や福祉関係者が設立し、地域の障害当事者が利用してきました。朝起きて、身支度をして家を出る。公共交通機関や自転車で通所し、軽作業をこなし、夕方には帰宅して地域での生活を営む。そうしたリズムが身についたことで、地域での生活が継続できているように感じます。

障害者生活支援センターの指定管理業務では、長年関わってきた利用者のライフステージの変化を感じるケースが増えてきました。建部町地域については、建部町地域包括連携会議（建部町地域の医療・介護・福祉の支援機関が集まる場）があることで、他機関との連携がとりやすい環境が整っており、心強い環境で支援ができています。

一方、ご家族が高齢になったことで問題が顕在化し、はじめてつながるケースも増えてきました。センターの存在を知ってもらい、相談のハードルを下げるための啓発活動の必要性を感じています。

地域交流事業では、地域からも「ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り」の再開を望む声がある一方、新型コロナウイルス感染症予防の観点から以前のような形でのイベントは難しいとの声もありました。不足する地域の交流機会を補うべく、令和4年度は新しく「福あつめプロジェクト」を企画しました。感染症に左右されない書面での交流ですが、地域の福祉施設、学校、一般住民に参加いただきました。

中学生を対象にした「たけべ中学生だっぴ」「たけべ部」については例年通りに開催することができました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～ 15:00	なでしこ共同作業 所	指導員 5 人、ボ ランティア 16 人、家族会 1 人	障害当事者、 関係者/約 100 人	5,370
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業所の運営	実施なし				
3) 公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センター こら～れの運営	月～金 9:00～ 17:00	障害者生活支援セ ンター	職員 5 人、ボラ ンティア 16 人	障害当事者、 関係者/約 350 人	18,621
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」 の発行	年 1 回	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	会員・関係者/ 約 150 人	2
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	不特定多数	
5) 地域交流に関する事業					
夏のふれあいカフェ	実施なし				
ふくわたり・ふれあい・ ふくし祭り	実施なし				
福あつめプロジェクト	建部町文化祭 11/19・20	建部町文化センタ ー	職員 5 名 29 団体	地域住民 331 名	38
たけべのちっちゃな パソコン教室	年 8 回	建部町公民館	職員 1 人	地域住民 延べ 9 人	
たけべ中学生だっぴ	11/25	建部中学校	大人・実行委員 23 人/大学生 6 人	中学生 32 人	
たけべ部	全 7 回	建部町文化センタ ー/たけべ八幡温泉	実行委員 10 名	中学生延べ 49 人	

### 3 実績報告

#### 1) なでしこ共同作業所の運営

##### ① 利用状況について

		令和3年度	令和4年度
開所日数		238日	240日
登録者数		10人	10人
利用延べ人数		2,025人	1,882人
一日平均利用人数		8.50人	7.84人
平均年齢		65才	65才
平均工賃	内職賃金	35,982円	34,109円
	賞与	17,092円	20,465円
	合計	53,074円	54,574円

##### ② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	アルテミラ・テクノソリューションズ株式会社
ペットボトル回収リサイクル処理作業	株式会社カロスアウラ
資源回収団体報奨金	岡山市
園芸用木製チップの選別作業	タマタイ産業
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
ブルーベリーの収穫販売	入野農園
手芸品・さをり織りの製作と販売	たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売 はっぽね桜祭り たけべマルシェ

##### ③ 作業以外の行事等について

- 新型コロナウイルス感染症予防のため実施なし

##### ④ 支援について

- メンタルボランティアさくらの会による支援：延べ197人
- なでしこ家族会による支援：延べ46人

## 2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

## 3) 障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

### ① 施設の運営・利用状況

内 容	令和3年度	令和4年度
登録者数	17人	17人
関わり人数(実)	58人	64人
開館日数	242日	243日
利用人数(延)	2,556人	2,250人
1日平均利用者数	10.5人	10.3人
風呂の利用許可及び 利用料の収納	3回 (実1人)	5回 (実1人)

### ② 建物管理について

#### ● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
2階調理台の水栓	水量が少ない	清掃・水量調整を行った
2階談話室の火災報知 設備	経年劣化	機器の交換を行った

#### ● 避難訓練(12月14日、3月30日)

### ③ 相談の状況

内容	件数	内容	件数
訪問	352	メール	8
来所相談	610	個別支援会議	25
同行	100	関係機関	708
電話・FAX	765	時間外対応	18

#### ④ 基礎的事業

利用者活動	延べ参加人数	利用者活動	延べ参加人数
ボランティア活動 (月2回)	—	オープンキッチン (自炊練習)	4
ミニ交流会(月1回)	61	ボードゲーム等	0
お楽しみ会(月1回)	52	カラオケ	17
食事作り(月2回)	—	合同クッキング(年2回)	0
ミニ作業 (チップ選別・回覧板)	59	忘年会	6

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止した事業がある。

#### ⑤ ボランティアの養成及び育成・組織育成

内 容	件数	内 容	件数
家族サロン	0	地域交流に関わる取組	29
家族会支援	4	協議会・運営会議等	48
ボランティア団体支援	6	吉備中央町関係	9
教育機関との連携	2	人材育成	0
サービス向上のための研修等	23	他事業所への指導等	5
広報・啓発	18		

### 4) 障害保健福祉に関する啓発事業

#### ① 法人会員数

種 別	令和3年度	令和4年度
正会員	27人	27人
賛助会員	54人	51人
合計	81人	78人

#### ② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
40	令和4年9月3日	総会報告

## 5) 地域交流に関する事業

### 夏のふれあいカフェ

■日 時	毎年8月最終金曜日を予定
■場 所	なでしこ共同作業所
■内 容	作業所を地域住民に開放し交流を深める
■結 果	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

### ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り

■実行委員会	開催なし
■日 時	毎年10月に開催予定
■内 容	誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりとして、地域と福祉事業所が協働して交流イベントを開催する。
■結 果	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

### 福あつめプロジェクト

■実行委員会	1回（7月28日）
■日 時	建部町文化祭（11月19日・20日）
■内 容	地域住民、介護・福祉サービス利用者にカードを配り「最近あった良いこと（福）」を記入してもらい、建部町文化祭で展示した。
■結 果	29団体と個人からの協力で331枚のカードが集まり、パネル4枚に渡り展示ができた。文化祭では足を止めて眺めたり、当日参加する来場者の姿も見られた。 コロナ禍で少なくなった地域の交流を書面で行うことで、感染症に影響されることなく実施することができた。また、福渡の名前にちなんだ企画を実施することで、地元への愛着を深める機会となった。

### たけべのちっちゃなパソコン教室

■実 施	8回
■参加人数	8人（実7人）
■内 容	Microsoft Word・Excel、パソコン設定
■目 的	地域活動団体の事務担当者のパソコン操作を支援する。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないといった課題を解決する。
■成 果	新型コロナウイルス感染症予防対策として講師と参加者の一対一で開催した。地域活動における事務作業の滞りについての相談が多く、一緒に作業することで解決することができた。

## たけべ中学生だっぴ

■実行委員会	7回（建部町公民館等で実施）
■月 日	令和4年11月25日（金）
■場 所	建部中学校 体育館
■参加人数	建部中学校2年生…32名 大学生…6名 大人・実行委員会…23名
■目 的	中学生に対し、多様な価値観をもつ大人と交流する機会を提供する。
■成 果	事前事後アンケートの比較分析では、「自分と異なる意見や価値観を持つ人とでも、関係を築くことができると思う」の項目で実施前は「どちらでもない」の回答が41%と最多だったが、実施後には「そう思う」が最多で78%となるなどの変化がみられた。

## たけべ部

■実施回数	7回（6/22, 6/28, 7/18, 7/22, 8/31, 9/21, 10/26）
■場 所	建部町文化センター、たけべ八幡温泉
■参加人数	建部中学生 延べ49人（全学年対象）
■目 的 内 容	中学生が今の自分自身や未来の自分、未来の地域について考え、行動できる場を目指す。 JR西日本の観光列車が津山線を運行するのに合わせ、中学生発信で建部町をPRする方法を話し合い、動画作成を行うことになった。撮影や編集を重ね、You Tube「たけべチャンネル」で公開した。
■成 果	回を重ねるにつれて大人との信頼関係が構築され、中学生から自由なアイデアが出てくるようになった。

